

殺菌剤
イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤

ベルクート[®] フロアブル

農林水産省登録 第19884号
(日本曹達(株)登録)

性状：白色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものの通称）
危険物：非該当
有効年限：4年
包装：500ml×20

有効成分：イミノクタジンアルベシル酸塩···30.0%

殺菌剤分類

M 7

ベルクート[®]は日本曹達(株)の登録商標です。

特長

- 多くの病害に対して優れた予防効果を示します。
- 病原菌の細胞膜に作用し、胞子発芽・発芽管伸長・付着器形成・侵入菌糸形成などを阻止することで病原菌の活動を強力に阻害します。
- フロアブル剤のため粉立ちも少なく、薬剤の計量が簡単です。また作物の汚れも軽減されています。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病 うどんこ病	1000～ 1500倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	6回以内 (但し、開花期 以降散布は 3回以内)	散布	8回以内 (液剤及び水和剤は 合計6回以内 (開花期以降は3回以内)、 塗布剤は2回以内)
	黄腐病 モニリア病	1000倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1500倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内)
すもも	灰星病	2000倍	200～ 700ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	黒星病 灰色かび病 すす斑病	2000倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
小粒核果類 (うめ、すもも を除く)	灰星病	2000倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
おうとう	灰星病	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
もも	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内 (休眠期は1回以内)
ネクタリン	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病	1500～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
みかん	そうか病 貯蔵病害（軸腐病）	1000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	灰色かび病 貯蔵病害（青かび病） 貯蔵病害（緑かび病） 貯蔵病害（黒腐病） 貯蔵病害（白かび病）	1000～ 2000倍					
	灰色かび病 貯蔵病害（青かび病） 貯蔵病害（緑かび病）	10倍	4～5ℓ	収穫前日 まで	無人航空機 による散布		
		20倍	8～10ℓ				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当たり 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	そうか病 貯蔵病害（軸腐病） 幹腐病	1000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	灰色かび病 貯蔵病害（青かび病） 貯蔵病害（緑かび病） 貯蔵病害（黒腐病） 貯蔵病害（白かび病）	1000～ 2000倍					
	灰色かび病 貯蔵病害（青かび病） 貯蔵病害（緑かび病）	10倍 20倍	4～5ℓ 8～10ℓ			無人航空機 による散布	
	レタス	菌核病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布
くり	実炭疽病	1000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内
キャベツ	菌核病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫28日前 まで	3回以内	散布	3回以内
にんじん	黒葉枯病 うどんこ病 斑点病 菌核病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内、 無人航空機散布は2回以内)
	斑点病	8倍	2ℓ		2回以内	無人航空機 による散布	
らっきょう	灰色かび病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	1000倍 8倍	100～ 300ℓ 1.6～3.2ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
	無人航空機 による散布						
すいか	炭疽病 うどんこ病 菌核病 つる枯病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
メロン	うどんこ病 菌核病 つる枯病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内
きゅうり	灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 菌核病 黒星病	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	7回以内	散布	7回以内
にがうり	うどんこ病	4000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なす	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病 褐紋病	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
トマト	灰色かび病 葉かび病 うどんこ病 すすかび病	2000～ 4000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当たり 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
ミニトマト	灰色かび病 葉かび病 うどんこ病 すすかび病 斑点病	4000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
いちご	炭疽病 うどんこ病 輪斑病	1000倍	100～ 300ℓ	育苗期 (定植前)	5回以内	散布	10回以内 (育苗期は5回以内、 本圃では5回以内)
	うどんこ病	2000～ 4000倍		収穫前日 まで (生育期)			
	灰色かび病 炭疽病 黒斑病	2000倍					
アスパラガス	褐斑病 斑点病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫開始7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	斑点病	8倍	1.6ℓ			無人航空機 による散布	
やまのいも	炭疽病 葉汎病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (種いもへの処理は1回以内、 無人航空機散布は3回以内)
	葉汎病	12倍	3ℓ		3回以内	無人航空機 による散布	
	青かび病	200倍	—	植付前	1回	1～10分間 種いも浸漬	
やまのいも (むかご)	青かび病	200倍	—	植付前	1回	1～10分間 種いも浸漬	1回
だいす	腐敗粒 紫斑病 子実汚斑病	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1回以内)
	紫斑病	6倍	0.8ℓ		無人航空機 による散布		
		12倍	1.6ℓ				
茶	炭疽病 新梢枯死症 輪斑病	1500～ 2000倍	200～ 400ℓ	摘採7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
アイリス	青かび病	100倍	—	植付前	1回	10分間 球根浸漬	8回以内
		200倍				30分間 球根浸漬	
チューリップ	褐色斑点病 灰色かび病	1000倍	100～ 300ℓ	発病前～ 発病初期	8回以内	散布	8回以内
りんどう	葉枯病 花腐菌核病	1000～ 1500倍	300ℓ	発病前～ 発病初期	8回以内	散布	8回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	10アール 当たり 使用量	10アール 当たり 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 菌核病 黒星病	150ml	10ℓ	収穫前日 まで	7回以内	常温煙霧	7回以内
なす	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病 褐紋病	150ml	10ℓ	収穫前日 まで	3回以内	常温煙霧	3回以内

使用上の注意事項

- 使用の際は、容器をよく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲で使用してください。
- 5°C以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しにくくなることがあるので、50°C以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用してください。
- おとうに使用する場合、着色期の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので使用しないでください。
- りんごの落花直後から落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 西洋なしの品種ルレクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- 缶桃14号等の缶詰用品種のものでは葉に薬斑を生じるので、かからないように注意してください。
- かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
- やまのいも（むかご）に使用する場合、種いも（やまのいも）を浸漬処理してください。
- チューリップに使用する場合、花弁に薬害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用してください。
- 蚊に対して毒性があるので、桑にかからないように注意してください。
- 敷布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
 - 敷布機種の散布基準に従って行ってください。
 - 敷布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 敷布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 敷布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 常温煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
 - 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
 - 作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 薬液調製時及び使用の際は保護眼鏡、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- 常温煙霧中はハウス内に入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。